

県立高校指定校事業（令和4年度指定）単年度計画書

学 校 名	神奈川総合高等学校 (全・定・通)	校 長 名	川島 勝
指 定 名	グローバル教育研究推進校	年 度	令和4年度
研究主題	変化し続けるグローバル社会で生きぬくための実践的なコミュニケーション能力、人間関係形成能力と、持続可能な社会をめざすための課題発見能力を身につけ、様々な背景を持つ人々とともに主体的・協働的に課題解決に取り組もうとする人材を育成する。		
本年度の研究内容	<p><b>(1) 本年度の目標</b></p> <p>○グローバルかつ地域に根ざした視野の育成          グローバル社会で必要とされる多角的で幅広い世界観を育成するために、世界を俯瞰する国際的な視野を獲得すると同時に、西欧、東アジア、アフリカ、中東、ラテンアメリカなどの各地域から捉えたローカルな視点で多様な価値観に触れ、対話的・協働的な学びの蓄積を行う。また、外部施設や外部資源を活用したミニスタディツアー等の具体的な企画をたてる。ポストコロナにおける国際交流の方法を模索する。</p> <p>○持続可能な社会を築くための問題意識の共有          「Sustainable Development Goals」に示されている視点を中心に、持続可能な社会をめざすために必要な課題を授業や学校行事の中に積極的に題材として取り上げ、問いを立てディスカッションをとおして具体的な行動へつなげるように問題意識の共有をすすめる</p> <p><b>(2) 目標実現のための具体的な手立て</b></p> <p>○グローバルかつ地域に根ざした視野の育成          ポストコロナ禍における国際交流の視点の定め方と具体的な手法を学校全体で模索し、ミニスタディツアーやパートナー校交流等の中で活かすよう協議を進め、新しい国際交流の土台を形成していく。          また、外部施設や外部資源を活用した学習活動の具体的な企画をたて、学校全体でその成果を共有していく。</p> <p>○持続可能な社会を築くための問題意識の共有          「Sustainable Development Goals」に示されている視点を中心に、持続可能な社会をめざすために必要な課題を授業に取り入れ、生徒が自ら問いを立て解決策を考えるよう授業改善研修を進める。また、授業だけではなく学校行事等も含んだカリキュラムマネジメントとして、具体的な行動へつなげるように問題意識の共有を進める</p> <p><b>(3) 成果の検証方法及び成果指標</b></p> <p>アンケートや、生徒の意見聴取を行うことで、形成的な評価を行いその後の教育活動に生かしていく。また日常の授業についても生徒による授業評価の質問事項等でその成果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魅力と特色ある県立学校づくりについて」における「課題の発見と解決に向けて、主体的に考えたり、発表しあうなどの協働的な学習活動を行うことによって、思考力・判断力・表現力を高めることができた」(A-4)の肯定的回答率85%以上を目標とする。</li> <li>・「生徒による授業評価」における「単元の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」(小項目2)と「他者の考えを知ることにより、新たな考えを知るなど、自らの考えを広げ深めることができた」(小項目5)の肯定的回答率85%以上を目標とする。</li> </ul> <p>国際的な行事について、その事前指導、事後指導も含めてアンケートや生徒の意見聴取を行い、その内容を分析し、検証する。</p>		
その他特記事項	グローバルキャンプ、ワールドカフェ、パートナー校交流等の国際的行事については、コロナ禍においても継続的に実施していくために、その内容、日程、運営などについて検討する必要がある。		